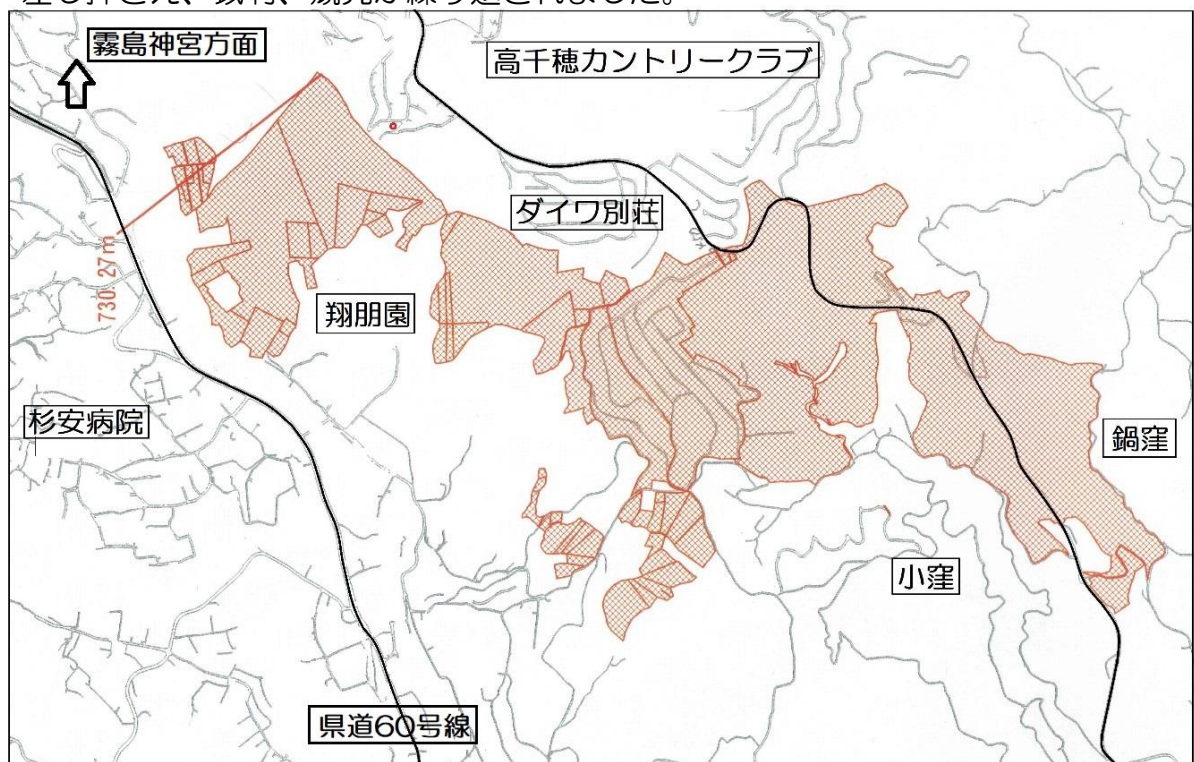


霧島町の皆様へ

# 貴方のそばに県内最大のメガソーラ とても危険な場所です。

湯之宮からダイワ別荘へ上る道路の左右の小窪、鍋窪への急斜面、ダイワ別荘から霧島川までの急斜面、56万坪の土地に県下最大の80メガのメガソーラ建設計画があります。鹿児島島の七ツ島が70メガですから、その巨大さが推し量れます。

場所は霧島リゾートランドとして別荘地造成が計画された場所、でも資金が続かず、破産、差し押さえ、裁判、競売が繰り返されました。



平成31年1月時点の地主ではない会社の委託を受けて鹿児島の大福コンサルタントが測量をしています。道路にピンクのリボンが釘で留められています。測量を依頼したのは北九州市の太陽光発電を事業とする会社です。

霧島市には既に相談に出向いているようです。でも霧島市は守秘義務を盾に私達に何も教えてくれません。

この場所の木を伐り山を削り、谷を埋めたらどのような事になるか、霧島町にお住いの方は容易に想像できると思います。

近年、局地的豪雨によって全国各地で大災害が多発しています。

- 平成5年の86水害がありました。
- 平成22年7月霧島永水の豪雨によって手籠川が氾濫し、田植え直後の稲作が全滅し、関の坂が崩落し、複数台の車が崩落現場に吸い込まれました。
- 平成26年8月、広島では77名の犠牲者がでました。

- 平成 29 年 7 月北部九州豪雨では 37 名の犠牲者がでました。
- 平成 30 年 7 月の西日本豪雨では 219 名の犠牲者がでました。

山の木を伐り放置すれば洪水が起こるのは当たり前です。大きな被害がありました中国地方・瀬戸内海側の地質は『真砂土』です。私たちの身近にある『シラス』に、とても似ています。



**狩川が氾濫しました。  
駐在所近くの道路が壊れました。**



**関の坂が崩落  
長い間通行止めになりました。**

私達は 86 水害を忘れません。

私達は狩川の氾濫を忘れません。

私達は関の坂の崩落を忘れません。

私達のすぐそばで、とても危険な開発計画が進められています。

私達は安全な場所に作られるメガソーラーには反対しません。でも地域を危険にさらすメガソーラー建設には反対します。

計画地は湯之宮の方々の簡易水道の水源です。豊かな霧島の水を汚す開発には反対します。

栢田、白土、大窪、川北の田んぼが壊れます。霧島川の綺麗な水が汚されます。

松永、日当山の稚鮎漁に大きな懸念があります。

環境を壊すメガソー

ラー建設には反対します。

霧島神宮に向かう右側に県下最大のメガソーラーが出来上がった景観を想像してください。美しいはずがありません。景観を壊すメガソーラー建設には反対します。

私達は地域を危険にさらす場所へのメガソーラー建設に反対します。一緒に立ち上がってください。

連絡先 霧島虎ヶ尾岡メガソーラー建設反対協議会 中村満雄 (080-8500-0803)